

研究テーマ	発想・構想の能力を高めるための言語活動の工夫 ー中学2年「音楽の世界～CDジャケットデザイン～」の実践を通してー
-------	---

鹿嶋市立鹿野中学校学校 教諭 永澤 正子

I 研究テーマについて

中学校学習指導要領解説美術編の〔第2学年及び第3学年〕目標(2)に、「対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。」とある。また、第4章指導計画の作成と内容の取扱い2(4)「話し合うこと」に、「制作の過程や完成段階などで、学級全体やグループなど形態を工夫して、一人一人が自分の思いや工夫したことなどを発表したり、他者のよさを認め合ったりして、互いが学んだことを共有化する学習の機会を設けることが大切である。」と明記されている。そこで、制作過程でグループやペアで制作意図を伝えたり、批評し合ったりする活動を取り入れることで、「独創的・総合的な見方や考え方」を培い、豊かに発想・構想する能力を高めたい。

本研究の題材は、「音楽の世界～CDジャケットデザイン～」とする。本校の年間行事には合唱コンクールがあり、本校の生徒は、その合唱コンクールにとっても意欲的に取り組んでいる。そこで導入に、関心の高い合唱曲の歌詞から感情や情景を読み取り、グループでイメージ画を描く活動を取り入れ、グループで活発に意見交換ができる雰囲気作りを行いたい。音楽にも関心の高い生徒が多いことから、意欲的に取り組める題材であると考えます。

II 研究の実際

1 題材名 音楽の世界 ～CDジャケットデザイン～

2 題材の目標

- 音楽の世界観を分かりやすく表現している CD ジャケットのよさに気付き、関心をもって制作に取り組もうとしている。（美術への関心・意欲・態度）
- 音楽を聴き、メロディーや歌詞からその曲の世界観を感じ取ったり、想像したりして、美しさや伝わりやすさを考え、豊かな表現の構想を練ることができる。（発想や構想の能力）
- 色彩やイラストレーションなどの効果を生かし、表現意図に合う表現方法を工夫しながら、創造的に表現することができる。（創造的な技能）
- 既製の CD ジャケットの曲やアーティストのイメージを宣伝するために表現の工夫を施した洗練されたデザインのよさや美しさを味わうことができる。（鑑賞の能力）

3 題材で行う思考を活性化する取組

アイデアスケッチの段階での話し合いや中間鑑賞会の活動を通し、他者の考えや発想に触れたり、お互いの作品を批評し合ったりする活動を行う。

4 題材設定の理由

(1) 生徒の実態

本学級は、明るく元気があり、活発な生徒が多い。美術科の授業にとっても意欲的で、積極的に取り組む様子が見られる。これまでの学習の様子を振り返ると、デッサンや、1学期に取り組んだ写生など、

対象を観察して描く活動に、意欲的に取り組むことができていた。

「音楽の世界～CD ジャケットデザイン～」についてアンケートをとったところ、次のような結果になった。

男子17名、女子14名、計31名（調査人数 27名）実施日：平成28年9月1日

○音楽を聴くこと、または歌うことが好きである。

とてもそう思う9名 そう思う10名 あまりそう思わない6名 そう思わない2名

○CDジャケットを見て、その曲を「聴いてみたい」と思った経験がある。

とてもそう思う2名 そう思う12名 あまりそう思わない8名 そう思わない5名

○音楽を聴いて、歌詞やメロディーから情景などを想像する活動をしたことがある。

ある 15名 ない 2名 分からない 10名

○主題をもとに、想像力を働かせて絵を描くことは得意である。

とてもそう思う3名 そう思う3名 あまりそう思わない12名 そう思わない9名

以上の結果から、国語科や音楽科の授業で、文章や音から情景などを想像し、言葉で表現する活動を行ってきたことが分かる。一方で、想像力を働かせてイメージの世界を描くことを得意と思っていない生徒が多くいるのが現状である。

(2) 題材観

中学校学習指導要領解説美術科の第2、3学年の内容A表現(1)ア「対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと」、(2)イ「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること」とある。本題材では、好きな曲のイメージ画をCDジャケットとして表現することで、より深く曲の世界を感じ取り、構想を工夫して豊かな表現をする活動を行いたい。1学年では絵文字のデザインで、「他者の立場に立って、伝えたい内容を分かりやすく表現すること」を意識し、制作を行った。本題材は、1学年で学んだ内容を発展させるとともに、音楽の歌詞や曲調から音楽のもつイメージをより分かりやすく表現し、他者への伝わりやすい表現を学ぶことのできる題材であると考えられる。また、中学校学習指導要領解説美術編の内容1(3)〔共通事項〕(1)ア「形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。」に対応している。人が共通に感じる形や色彩の美しさや感情効果に注目することが重要であることに気付かせ、構想の能力の向上を図れる題材である。

(3) 指導観

本題材では、関心の高い音楽を題材に用いることで、不得意とする生徒の多いイメージ画への抵抗を減らし、表現豊かに発想する力の向上を図りたい。まず、導入で既製のCDジャケットを鑑賞し、身近にある商品の美しさに気付かせたい。曲やアーティストのイメージを宣伝するために、表現の工夫が施されたジャケットのデザインを味わい、制作への意欲を高めたり、完成した時のイメージをもたせたりする。次に、全員の知っている合唱曲の曲調や歌詞からイメージされる色彩や情景などを、自分の言葉で表現したり、友達の考えを聞いたりする活動を通して、発想の膨らませ方をクラス全体で考えていく活動を取り入れる。さらに、アイデアを決定する段階では、中間鑑賞会を行い、グループで批評し合う活動を通して、より深く構想を練ることができるようにする。また、好きな音楽となると、既製のCDジャケットのデザインに似てしまうことが予想されるため、「量産しないからこそできるオリジナルCDジャケット」ということを強調していきたい。

5 題材の評価規準

① 美術への 関心・意欲・態度	② 発想や構想の能力	③ 創造的な技能	④ 鑑賞の能力
CD ジャケットの制作に関心をもち、主体的に構想を練ったり、表現方法を工夫したりしようとしている。	メロディーや歌詞からその曲の世界観を感じ取り、美しさや伝わりやすさを考え、表現の構想を練ることができる。	色彩やイラストレーションなどの効果を生かし、表現意図に合う表現方法を工夫しながら、創造的に表現することができる。	既製の CD ジャケットの表現の工夫を施した洗練されたデザインのよさや美しさを味わうことができる。

6 指導と評価の計画（8時間扱い）

次	時	学習のねらい、学習活動	学習活動に即した評価規準 ()は評価方法
第一 次	1	・既製の CD ジャケットの鑑賞を行う。	・CD ジャケットに関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 (①：観察)
	2	・合唱曲の世界を感じ取る。	・CD ジャケットのデザインがもつ効果を理解することができる。 (④：ワークシート・観察)
単元を貫く学習課題：曲の世界を表現した CD ジャケットを制作しよう。			
第二 次	3	・CD ジャケットのアイデアスケッチを行う。	・メロディーや歌詞からその曲の世界観を感じ取り、美しさや伝わりやすさを考え、表現の構想を練ることができる。 (②：ワークシート)
	4	・中間鑑賞会を行う。	・中間鑑賞会を通して、主題や制作意図に合う表現について考えを深め、構想を練り直すことができる。 (②：話し合い・ワークシート)
	5～8	・表現意図に合わせ、表現方法を工夫して、アイデアスケッチを基に制作する。	・表現方法を工夫したり、構想を練り直したりしながら、より良い作品にするために意欲的に取り組むことができる。 (①：観察) ・色彩やイラストレーションなどの効果を生かし、表現意図に合う表現方法を工夫しながら、創造的に表現できる。 (③：作品・観察)
第三 次	9	・相互鑑賞会を行う。	・友達の作品の良さやおもしろさに気付くとともに、分かりやすさの観点から批評し合うことができる。 (④：鑑賞カード)

7 指導の実際

(1) 主な言語活動を取り入れた学習

<第一次>

第2時 合唱曲のイメージ画の構想を練る

学習形態	学習内容	生徒の様子
個人	・「歌詞の中でキーワードになる言葉」「連想される情景」、「感じ取れる感情」をまとめる。	・歌詞を確認しながら、読み取ろうとしていた。
グループ	・個人の意見を共有し、曲のイメージを話し合い、考えをまとめる。	・曲が表現している感情を色で表すと何色になるのかなどのお話合いしていた。異なる意見がでて、「なんで?」とそれぞれの考えを伝え合いながら、意見をまとめていた。
グループ	・歌詞や曲調に根拠をもちながら、曲のイメージ画を文章でまとめる。(～な感情がもてるから〇色を使う、など)	
<div data-bbox="454 604 1423 672" data-label="Caption"> <p>【資料1】グループ活動でまとめたイメージ画のアイデア (合唱曲「信じる」)</p> </div> <div data-bbox="466 689 896 976" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="906 689 1332 976" data-label="Image"> </div>		
クラス	・グループごとの意見を発表し、実際に曲を聴いて批評し合う。	・実際の曲を聴きながら、それぞれの班のアイデアを確認し、他者に一番伝わりやすいアイデアを考えることができた。 ・「A班の意見はイメージが分かりやすい」「B班はどんな曲かわかりにくい」など、活発な話し合いを行うことができた。

<第二次>

第2時では、中間鑑賞会を行った。お互いのアイデアスケッチを見たり、アドバイスし合ったりして批評し合った。音楽の自分がもつイメージだったアイデアから、他者に伝わりやすいアイデアになることをねらいとして取り組んだ。授業の展開は(2)で述べる。

制作に入っても、学習形態をグループにして取り組むことで、制作過程で他者の意見を聞き、より良い作品にするための工夫ができるようにした。

<第三次>

題材の最後に相互鑑賞会を実施し、お互いの作品を批評し合った。批評するポイントは以下の3点とした。

- ・曲のイメージが伝わりやすいデザインになっているか
- ・CDジャケットとして必要な情報は入っているか
- ・オリジナル性のある作品になっているか

批評する中で、制作者にも気づきもてるように、最後には自分自身の作品の評価もつけるようにした。また、ワークシートは曲のイメージや制作意図を自分で書き込み、友人からの意見が書かれた鑑賞カードを貼り付けられるように工夫した。

この活動を通して、きちんと自分の制作を振り返ることができた。

【資料2】相互鑑賞会のワークシート

【制作意図】	
どんなイメージを与えたかった?	明るい、静かな雰囲気。
そのためにした工夫(イラスト、色、歌詞等)	明るい色調のイラスト、静かな歌詞、優しいメロディ。
その他(文字の大きさ、伝わりやすさ)	歌詞をわかりやすく、色もやさしく、やさしい曲調。
【他者の感想】	
A 【良い点・改善すべき点と改善案】 メロディが印象的だった。歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。	A 【良い点・改善すべき点と改善案】 歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。
B 【良い点・改善すべき点と改善案】 歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。	B 【良い点・改善すべき点と改善案】 歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。歌詞の表現が心に響いた。
【制作を振り返って】	
制作を振り返って、制作の楽しさや苦労を振り返る。制作の楽しさや苦労を振り返る。制作の楽しさや苦労を振り返る。	
【他者の作品を鑑賞して】	
他者の作品を鑑賞して、制作の楽しさや苦労を振り返る。制作の楽しさや苦労を振り返る。制作の楽しさや苦労を振り返る。	

(2) 授業の展開『中間鑑賞会』

(ア) 目標

中間鑑賞会を通して、主題や制作意図に合う表現について考えを深め、構想を練り直すことができる。(話し合い・ワークシート)

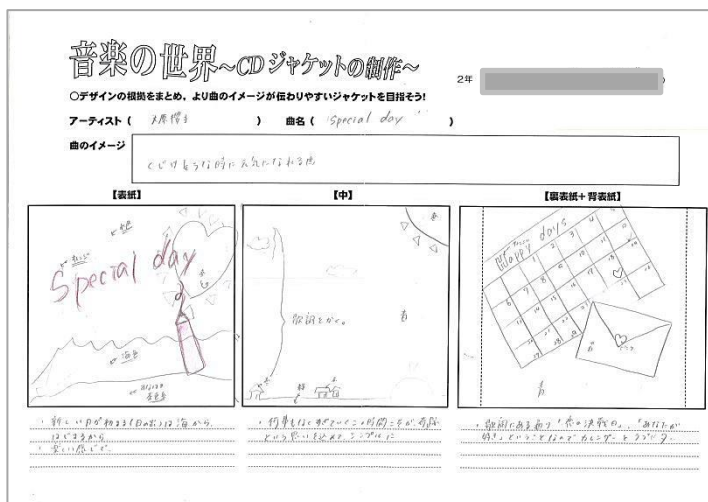
(イ) 準備・資料

ワークシート, CD ラジカセ, CD, 付せん紙

(ウ) 展開

	主な活動・内容	教師の支援(・)と評価(評)
		☆は「おおむね理解することができる」に伸ばす手立て
つかむ	<p>1 学習課題を確認する。 (1)学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中間鑑賞会を通して、曲調や歌詞から、その音楽に合う表現について考えを深め、自分のアイデアを見直そう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに取り組んだアイデアスケッチのプリントを確認し、自身のアイデアを振り返るとともに、中間発表会のねらいを知り、本時の学習に対する意欲付けを行う。
考える	<p>2 発表の準備をする。 (1)ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲のイメージ ・友達にもらいたいアドバイス <p>3 中間発表会を行う。 (1)グループで各自のアイデアを発表し、良い点やアドバイスなどの意見を出し合い、表現について考えを深める。 (5分×4人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆悩んでいることや聞きたい意見もまとめることで、中間発表会が自分の構想を練るのに、効果的に働くよう声かけを行う。
深める	<p>〈見る視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲のイメージに合う効果的な表現になっているか ・オリジナル性があるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアをよりよくするための意見交換であることを伝え、友達作品を否定的に捉えることがないように、声かけを行う。 ・班ごとに司会者を決定し、自由な話し合いをすることができるようにする。 ・見る視点を提示することで、何について意見を出せば良いのかを明確に分かるように支援する。 ・付せん紙を用いて、意見を簡単にまとめることができるようにするとともに、それをもらった生徒が、今後の制作の参考とすることができるようにする。 ・聞いたことのない音楽でイメージが伝わりにくい場合には、実際にその音楽を流すことで、グループで音楽のイメージをもち、話し合いができるように支援する。
まとめる	<p>4 意見をもとに構想を練り直し、アイデアを決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もらった意見をもとに、自分のアイデアを振り返るよう声かけをする。 <p>(評) 中間鑑賞会を通して、主題や制作意図に合う表現について考えを深め、構想を練り直すことができる。(話し合い・ワークシート)</p>
振り返る	<p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どういった視点で構想を練り直したのか <p>6 本時の学習を振り返る。 (1)鑑賞を通して学んだこと、感じたことをワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をしながら、よい意見をもっている生徒を確認し、数名を指名する。 ・本時のねらいを確認して振り返ることができるよう助言する。 ・次時の学習について伝え、次時への意欲を高める。

【資料3】大原櫻子「Special day」のアイデアスケッチと完成作品、他完成作品の一例



表のジャケットにハートの型が2枚入っていて、ケースを振るとハートが揺れるように工夫されている。

GReeeeN 「花唄」



花の写真を細かく刻み、コラージュした作品↑

ゆず 「雨のち晴れるや」



全て色画用紙を切り抜き、貼り付けて作成した作品↑

III 研究の成果と課題

1 成果

- ・導入で合唱曲の世界観を読み取る学習を行った。全員が思い入れをもっている曲のため、話合いも活発になり、イメージ画も発想豊かなアイデアを出すことができた。
- ・自分の意見をワークシートにまとめたり、友達と意見を交換したりするなど、言語活動を多く取り入れたことで、「こうした方が曲の雰囲気が出る」「この表現はおもしろがってもらえる」などの客観的な視点を持ち、構想を練ることができた。

〈生徒の感想〉

- ・友達との話合いが多くあって、アドバイスをたくさんもらった。そのおかげでよりよい作品にできたと思う。
- ・絵を描くことは苦手だが、CDジャケット制作は楽しく取り組むことができた。
- ・CDジャケットの制作は、個人の曲の好みや表現の仕方など、それぞれの個性を生かせるものだったのでよかった。曲を選ぶ過程や絵を描くとき、色を選ぶときなど、段階によって、それぞれ違ったおもしろさがあった。友達と楽しみながら制作できることが自分にとってとても良かったと思う。

2 課題

- ・本制作は一人一人が音楽を選び取り組んだため、アイデアを深める活動において、音楽のイメージをつかみにくく、周りに知っている生徒がいない音楽を選んだ生徒のアイデアについては話合いの深まりが見られなかった。
- ・合唱曲のイメージ画を考える活動は活発ではあったが、グループによっては、考えに偏りが見られたので、より展開の工夫が必要だと感じた。